



▲「西伊豆町田子の日本一の夕陽」 静岡支部 中西 敬一

CONTENTS

- | | | | |
|----|---|----|--|
| 2 | <p>地本・支部だより</p> <ul style="list-style-type: none"> ●名古屋地方本部
部外協力活動で半田駅長から感謝状
支部総会に家族も参加 ●静岡地方本部
新地方本部長に西郷 弘氏就任
一支部活動の活性化を一
支部総会に「米寿記念の絵画展」を催賞 ●東海大阪地方本部
“OB会活性化のためアイデア”を・・・
一東海大阪地方本部総会一
上位3位まで施設支部独占 ●東海東京地方本部
都内の夜景が見えるレストランで総会 <p>SLのナマの姿を後の世代に残そう!</p> | 11 | <p>読者のひろば</p> <p>10年前の思い出 松浦 昇
 我流—マグロの楽しみ方・あれこれ 大橋 正博
 熊野古道 紀北町「始神峠」を訪ねて 東 昇
 健康管理 澤邊 邦雄</p> |
| 3 | | 13 | <p>投稿ページ</p> <p>磐田支部 鈴木 さよ子
 半田支部 相川 富雄</p> |
| 4 | | 14 | <p>記事募集</p> <p>インストラクター
 伝統の祭囃子を将来に伝えるために
 北村 忠行(垂井支部)</p> |
| 5 | | 15 | <p>沿線歩記
 武豊駅</p> <p>文芸</p> <p>編集後記</p> |
| 6 | JR東海トピックス | | |
| 9 | 東海鉄道OB会 会員優待情報 | | |
| 10 | お元気ですか? 名古屋セントラル病院
家族がインフルエンザにかかったら | | |

名古屋地方本部

部外協力活動で半田駅長から感謝状

半田支部 寺田 好和

当支部は7月5日、JRへの部外協力活動により伊藤JR半田駅長から、支部として初めて感謝状を受けました。

これは毎年春と秋に開催される「さわやかウォーキング」等における協力がJRに評価されたものです。さわやかウォーキングは東浦、亀崎、半田、武豊の各駅で実施されています。私たちOB会員は、ウォーキング参加者の安全を確保するための誘導案内を、踏切道や交差点のそれぞれの場所で延べ30名以上が出て事故防止に協力しています。

そのほか、当支部は半田鉄道少年団の指導・育成に力を注いんだり、SL保存会を通して「鉄道資料館」等武豊線の周知活動を積極的に行っています。

この栄誉は、全会員の協力の賜ですので、みんなで喜びを分かち合いました。当支部では、この受賞を励みに、なお一層



▲伊藤半田駅長から感謝状を受けた半田支部長

JRとの連携と協調を図り、相互の発展向上に力を注ぎたいと話しています。

支部総会に家族も参加

守山支部 渡辺 一巳

リニア・鉄道館で家族と一緒に支部総会をやろう！会員の入館料は支部持ち、家族は各個人負担ということで募集したところ、5組の家族が参加されることになり、5月24日総務23名で開催した。

午前中は、みんなで館内をじっくりと見学。C62蒸気機関車の世界最高速度を出した時のエピソードや超電導リニアが世界最速で走っても、安全は保たれていると言う説明に感動した。シミュレータ体験では、操作する手がなかなか思うように動かず、自分がいかに高齢になっているかを痛感して思わず苦しい。

見学後、総会を開催し、まずは来賓の挨拶、金子支部長の事業報告、決算報告そして新役員の紹介を行い終了した。総会を行っている間、家族の皆さんは、歴史展示室でパネル等を見ながらご主人が勤めていた時代の歴史を辿ったり、また鉄道グッズの店で買い物をして時間を過ごしてもらった。

その後、リニア・鉄道館近くのレストランに移動して、家族の方たちと一緒に観覧会を開催した。会場は賑やかな笑い声に包ま

れ、若かりし頃の昔話を花を咲かせていたところへご婦人(家族)方が加わって一挙に満開となった。そして時間の過ぎる早さに戸惑いながら幕を下ろした。

家族の方から、総会がこんなに楽しい集まりとは思わなかったと言う嬉しい声が届くなど大変好評であった。



▲総会で家族と一緒にリニア・鉄道館見学

静岡地方本部

新地方本部長に西郷 弘氏就任
— 支部活動の活性化を —

静岡地方本部 事務局

6月11日、当地方本部の総会をホテルアソシア静岡で、各支部長および事務局長等51名が出席して開催しました。

最初に小尾本部長から「①東日本大震災に対する義援金と、この震災で会員の家族が行方不明になられた方への見舞金に感謝を述べられました。②会員の高齢化に伴う死亡、退会者の増加、逆にJR退職者は減少し入会者が少なく厳しい時であるが、会員の確保に努めこの組織の存続に努めてほしい」と挨拶されました。

続いて議事に入り、23年度の事業・決算報告、24年度の基本方針、予算、役員改選(案)が審議され承認されました。役員改選では新たに西郷 弘氏が地方本部長に就任されました。

西郷新地方本部長は就任後の挨拶で「OB会の命題である会員の確保と支部活性化に努め、特にこれからは女性の力に



▲就任の挨拶をされる西郷新地方本部長

期待したいと思います。会員の高齢化、減少及び地本の収支状況等多々問題はありますが、みなさんのご理解をいただきながら、活力あるOB会にするために取り組んでいきたい」と抱負を述べられました。

また、来賓を代表してJR東海常務執行役員工藤静岡支社長が「東日本大震災にはじまり計画停電、ゲリラ豪雨による身延線の大災害等、様々な困難度の高い仕事に重要性和責任を感じた1年でした。皆様の側面からの協力に感謝します」と話されました。

総会後は、JR東海静岡支社新田管理部長の乾彬で昼食会に移り、各支部それぞれが交流を深め、最後に女性の力を活用して支部の活性化に努めている三島支部長の元気な中締めで盛會裡に散会しました。

支部総会に「米寿記念の絵画展」を鑑賞

菊川支部 有海 秀明

梅雨入りに近い6月3日、支部総会を菊川市役所敷地内の地区センターで開催しました。今年に入り8名の新規加入があり、久方振りに活気のある総会になりました。

出席した会員の中に今年米寿を迎えられ、それを記念して絵画展を開催された会員がみえますので、皆さんに紹介します。その方は、当支部の中でトップクラスの高齢で、支部班長を務める石川 隆(87歳)さんです。

石川さんは、国鉄(遠江二俣自動車営業所)を退職された30年ほど前から、通信教育で絵画を本格的に学び、毎年4作以上の作品を描き続けられて来ました。今回、石川さんが米寿を迎えられたのを記念して、菊川市立図書館で絵画展を開催され、会場には菊川美術館大賞作品「出合いの形」や地元の花畑を描いて県美術祭奨励賞を受賞された「お茶の郷」など53点を出品されました。

支部総会の会場と市立図書館が隣接していて、それと絵画展の最終日が総会の日と重なったため、総会が終了し懇親会が始まる間を利用して、みんなで展示場に行って力作を鑑賞



▲米寿記念の絵画展を観賞した会員

し、石川さんを激励しました。石川さんは「絵は続けられ続けるほど難しい。老いてなお進化したい。描くことが元気の源」と話されました。

その後、懇親会に移り、年代を越えた交流の輪が広がり、健康や趣味の話で話題は尽きなく例年よりも遅い散会となりました。

東海大阪地方本部

“OB会活性化のためアイデア”を・・・
—東海大阪地方本部総会—

東海大阪地方本部 事務局

平成24年7月24日(火)17時00分から当地方本部第8回総会をニューオーサカホテル「淀の間」で、和泉本部長はじめ各支部長等53名の出席を得て開催しました。

はじめに、和泉地方本部長から「昨年早一年が過ぎ、本日までと再会できたことは、年を重ねる度に顔を合わせる機会が少なくなるだけに大変幸せに思います。また、鉄道OB会には全国で12万人が入会されていますが、昨年からは約7千人が退会されています。そのような状況の中で、当地方本部は、若干2名ではありますが増員となっており、皆様のご尽力のお陰と深く感謝しています。レクリエーション関係では、JR東海主催のさわやかウォーキングにOB会として初参加しました。今後とも何らかの形でJR東海に協力をしていきます。そして、OB会のさらなる活性化のために、既にご協力をいただいている井上さんの菊作講習会がありますが、広く皆さんからのアイデアをお寄せ下さい」と挨拶されました。

続いて議事に入り、石田事務局長より平成23年度活動報告・収支決算報告及び平成24年度活動方針・予算(案)並び



▲「今後もJRへ協力していく」と和泉本部長

に役員改正(案)について、説明提案があり満場一致で決議され、活況のうちに総会は終了となりました。

総会終了後、引き続き懇親会に移り、JR東海梁山常務執行役員総務部長、河原崎執行役員関西支社長、東海鉄道OB会南川専務理事及び関西支社幹部をはじめ、法人会員の代表等の方々に来賓として参加して頂き、OB会員との楽しい会話や会員相互間の意見交換等、旧交を温めることができ有意義なひとときとなりました。

上位3位まで施設支部独占

東海大阪地本施設支部 辰巳 俊彦

当地方本部のゴルフ大会は、今回で14回目。5月18日瀬田ゴルフコースで開催され参加しました。私はこれまでこの地本大会を何回かお世話し、自らもゴルフを楽しむため、第1回大会から今大会まで全てに参加し、参加者の皆様との意思疎通を図りながら楽しんで来ました。

参考に今までに開催されたゴルフ場を紹介します。瀬田ゴルフコース、信楽カントリー倶楽部、阿山カンツリークラブ、日清都カントリークラブ、朝日野カントリー倶楽部、滋賀甲南カントリークラブ、朝宮ゴルフコース、メイプルヒルズゴルフクラブ、滋賀ゴルフクラブ、京阪カントリー倶楽部で開催され、最近では瀬田ゴルフコースでの開催が定番となっています。

さて、今大会の参加者は41名で、地方本部長の挨拶のあとアウト、インに分かれてスタート、参加者は年齢に比して皆若々しく感じ、各々の組がワイワイガヤガヤとプレーを楽しんでいました。ただ当日は初夏にもかかわらず、あいにく寒さを



▲勢揃いした面白慢のプレイヤー

感じるコースコンディションでしたが、大いにエンジョイすることができました。

プレー終了後、懇親会が開かれそこで結果発表がありました。参加人数の比較の少ない施設支部が、新ダブルバーニア方式に恵まれたのか上位3位までを独占、妙な気分になったのも事実でした。

大会成績は、優勝 渡邊 則夫 準優勝 中尾 元昭
三位 辰巳 俊彦

東海東京地方本部

都内の夜景が見える
レストランで総会

東海東京地方本部 事務局

6月7日18時30分から都内のレストランルークで平成24年度の当地方本部の総会を開催しました。

当日は、90名を超える会員が出席され、23年度の決算報告、24年度の予算(案)と役員改選について承認されました。総会後は、恒例の懇親会を開催しました。会場は、東京の夜景が一望できる都内で有数の夜景スポットです。ここからは隅田川の火花が眼下に見られたり、さらに東京タワーや東京スカイツリーなどが夜空に浮かぶなど、東京の夜景を十分堪能出来る場所です。

しかし、中には夜景よりも目の前の料理とお酒を囲んで早速和やかに懇談を始める会員が多く見受けられ、会場のあちらこちらから笑い声と歓談の音が響き、いつまでも話題は尽きませんでした。



▲会場での総会風景



▲笑顔で歓談する会員

SLのナマの姿を後の世代に残そう!

東海鉄道OB会 事務局

公益財団法人交通文化振興財団は、SLのナマの姿を後世に残したいと、国鉄OBからの投稿を呼びかけています。当鉄道OB会としてもその趣旨に賛同し、同財団の呼びかけをここに紹介するとともに、会員の皆さんの積極的な投稿をお願いします。また友達にもぜひ呼びかけて下さい。

なお、交通文化振興財団では、投稿を全て後世に残すことにしています。また、投稿の中から本などの形でまとめた成果物は、投稿者に贈呈する計画です。

■投稿について

投稿者ご本人の氏名、住所、電話番号、FAX番号、電子メールアドレス及び現役当時の勤務箇所、ご担当等も差し障りない範囲でお知らせください。いただいた個人情報は、ご本人の同意が得られる場合を除き今回の取組み以外の目的には使用しません。投稿の内容を補足する文書、写真、図面等も歓迎です。提出された原稿・資料等は原則として返却しません。現在どこかで保存されているSLに関する投稿があった場合は、投稿者の同意を得て当該保存箇所に情報を提供することがあります。なお、今回、車両や部品等の現物をご提供いただくことはできません。投稿締切日は平成25年9月末日です。



▲梅小路機関車館 扇形車庫

送付宛先：〒600-8835 京都市下京区観喜寺町

梅小路蒸気機関車館内 SL情報担当

FAX: 075-314-3054

電子メール: uslm1972@world.odn.ne.jp

問合せ先: 075-314-2996 (梅小路蒸気機関車館)

送料は着払いを可とするも送付物の数や量が多い等の場合はご相談を。

平成25年末までの走行試験開始を目指し、順調に進む

山梨リニア実験線 延伸工事を公開

●中央新幹線建設部

当社は、平成18年9月に自己負担による山梨リニア実験線の42.8kmへの延伸と先行区間の設備の全面的な更新を決定し、平成20年5月に工事着手しました。今年3月には全てのトンネルが貫通し、明かり区間(トンネル部以外)でも構桁がかかりつつある状況です。そこで、工事が順調に進んでいることを実感していただくため、報道関係者への建設現場見学会を開催することにしました。



▲トンネル内部における報道公開

建設現場見学会は5月14日に山梨県上野原市秋山の建設現場で行い、延長約3,800mの秋山トンネルではトンネル内部を、また、延長約280mの明かり区間では工区的全景や、騒音低減を目的として橋りょう上に設置する半円形の明かりフード等を公開しました。当日は、45名の報道関係者にご参加いただき、本工事に対する関心の高さがうかがえました。

夏からはガイドウェイ等の設置工事を本格化させ、平成25年末までに走行試験が開始できるよう着実に工事を進めていきます。平成39年の開業を目指している中央新幹線(東京都-名古屋市間)の概ね7分の1に当たる区間となる山梨リニア実験線工事を通して得られたノウハウを着実に蓄積し、中央新幹線建設工事において、より良質な構造物を低コストで建設できるよう取り組んでいきます。



▲明かり区間(トンネル部以外)

さらなる進化を遂げる新型車両

N700Aのデザイン決定

新幹線鉄道事業本部

東海道新幹線の一層の安全・安定輸送の確保と省エネルギー化を推進するため、「N700系」以降の技術開発の成果を採用し、ブレーキ性能などを改良した新型車両「N700A」の最初の編成が8月に完成しました。

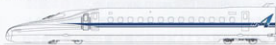
平成25年2月の営業運転開始に向けた試験走行等の準備を順次進めていきますが、それに先立ち、車両シンボルマーク、インテリアデザインを決定しました。

車両シンボルマーク

N700系からの進化を意味する「Advanced」の頭文字「A」を東海道新幹線のシンボルである青帯に力強く一体化させ、N700Aの先進性を表現しています。



▲N700A シンボルマーク



インテリアデザイン

グリーン車、普通車とも、お客さまからご好評いただいているN700系のインテリアを継承しながら、座席モケットのデザインを変更し、グリーン車ではより落ち着いた色調を持った車内に、普通車では明るく開放感のある車内としています。

○グリーン車座席

従来の茶色をベースにした生地を露(かすみ)模様にすることで、より落ち着いた色調のある車内を演出しています。

○普通車座席

従来の青色をベースにした生地を流線模様にすることで、明るく開放感のある車内を演出しています。

○シートのクッション素材

には、日本の新幹線として初めて100%リサイクル可能なポリエステルを採用します。

○トイレ、洗面室の照明

にはLEDを採用し、また、それに調光機能を持たせるなどして、車内の照明電力をN700系に比べ約20%削減しています。

グリーン車インテリアデザイン



N700系座席モケット柄



N700A座席モケット柄

普通車インテリアデザイン



N700系座席モケット柄



N700A座席モケット柄

平成24年度 春の叙勲

須田 寛相談役が 「旭日大綬章」を受章

●秘書部

平成24年度春の叙勲において、須田 寛相談役が「旭日大綬章」を受章しました。「旭日大綬章」は、国家または公共に対して、特に顕著な功績があったと認められる方に授与される勲章です。

須田相談役は、1987(昭和62)年4月、当社の初代社長に就任し、安全・安定輸送を最優先に東海道新幹線「のぞみ」の運転開始、在来線都市圏輸送の拡充など、当社の輸送サービスを刷新しました。1995(平成7)年に会長、2004(平成16)年には相談役に就任、産業観光を提唱しその普及に尽力する他、観光政策審議会など観光関連の要職のみならず、NHK経営委員長なども歴任しました。今回の受章は、須田

相談役のこれらの功績が高く評価されたものです。

5月8日、天皇陛下から直接勲章を授与される親授式が皇居・宮殿「松の間」で行われました。式典では、須田相談役が受章者10名を代表し、「この光栄を心に刻み、それぞれの分野でお一層の精進をしていきます」と陛下に御礼の言葉を述べ、陛下から、「長年それぞれの務めに精励し、国や社会、人々のために尽くされてきたことを、深く感謝しております」とお言葉がありました。



▲「旭日大綬章」を受章した須田相談役(右から5人目)

さらに魅力的な街へ

ナゴヤ セントラルガーデン 新店舗オープン

●事業推進本部

「ナゴヤ セントラルガーデン」(名古屋千種区)は、今年4月にオープン5周年を迎え、さらに魅力的な街づくりに向けて取り組んでいます。

4月には、美容室「ル サロンド オートボーテ カリタ」とカフェ「エール カフェ」がオープンし、エステサロン「シエル・ドゥ」がリニューアルオープンしました。7月には、料理の鉄人

で有名な陳 建一氏がオーナーを務める中国料理「四川飯店」がオープンしました。

また5月と6月には、「ラ・ベットラ・ダ・オチアイ ナゴヤ」の落合 務氏、「フォルテシモ アッシュ」の辻口博啓氏、「四川飯店」の陳 建一氏などのオーナーシェフたちがコラボレーションしてコース料理を提供するイベントを開催し、大変ご好評をいただきました。

今までになかった店舗、業態の誘致やイベント開催などを進め、より多くのお客さまにお楽しみいただけるようになりました。新しくなった「ナゴヤ セントラルガーデン」へぜひお越しください。



▲「ル サロンド オートボーテ カリタ」(左)と「エール カフェ」



▲シェフコラボイベントの様子

質の高い医療サービスで地域に貢献

最新機器の導入と 整形外科医師の常勤化

●名古屋セントラル病院

当病院では以下のとおり、高性能であり、かつ患者さんの負担を減らす最新医療機器を複数導入するとともに、整形外科の体制を充実させました。

①乳腺エコー装置（東海地区初）

乳腺全体のデータを自動で収集・保存することができ、3D画像として再生・判定することができるため、診断精度が向上し、乳がんなどの早期発見につながります。また、検査部位を強く圧迫しないため、あまり痛みを感じずに検査することが可能です。



▲MRI装置



▲CT装置



▲乳腺エコー装置（東海地区初）

②CT装置

1回の撮影で従来のCTより広範囲の撮影が可能となり、検査に必要な撮影時間、造影剤の量、放射線被ばく量を減らすことができ、患者さんの負担の軽減に貢献します。

③MRI装置

従来より強い磁気を利用して体内を撮影することで、より精細な撮影が可能となりました。また、撮影時に患者さんが入るトンネルが広くなり、検査中の圧迫感が軽減されます。

④整形外科の充実

4月から3名の整形外科医師を常勤化して配置し、手術や入院治療を行うことができる体制となりました。

これからも、質の高い医療サービスで地域に貢献していきます。

営業列車での運用開始

在来線鹿衝撃緩和装置

●東海鉄道事業本部

東海鉄道事業本部では、新しく開発した「鹿衝撃緩和装置」の営業列車での運用を、5月19日から紀勢本線の特急「ワイドビュー南紀」において開始しました。

在来線では、衝突件数が平成17年度の271件から平成23年度には512件と倍増するなど、列車と鹿との衝突が増加しており、列車遅延によるお客さまへのご迷惑や車両破損・死骸の処理による社員への負担が問題となっています。これまでの対策として、猛獣糞やおオカミの尿などの忌避剤の散布、侵入防止柵の設置や注意運転の実施などを行ってきましたが、鹿はどこで遭遇するか分からないため車両側での対策が有効であると考え、今回の装置の開発を進めました。

装置は車両の先頭部に、衝撃を緩和するスポンジゴムを布状の素材で覆ったものを進行方向に対し適切な角度で設置したものです。鹿との衝突時に鹿を線路の外へ押しつけることによって、鹿との衝突による問題の軽減を期待しています。

全体の衝突件数の4割を占める紀勢本線において、特急の先頭車両に装着し一定の実績を積んだ上で、必要により改良を図り、他の車両への拡大について検討していきます。



▲鹿衝撃緩和装置を装着した特急「ワイドビュー南紀」

※写真はすべてイメージです。

ホテルアソシア高山リゾートでは東海鉄道OB会会員の皆様に秋のご優待宿泊プランをご用意しました。また、今回は名古屋マリOTTアソシアホテルのレストラン、日本料理「華雲」のリニューアルオープン記念して、特別ご優待をご用意しました。皆様のご利用をお待ちしております。

ホテルアソシア高山リゾート ～飛騨牛と秋の味覚を楽しむ～ 秋のご優待宿泊プラン

期間：平成24年10月1日～11月30日まで

(除外日 10/6、10/7、10/9)

ご予約の際、「東海鉄道OB会 秋のご優待宿泊プラン」とお申しつけください。

秋の飛騨高山は、木々の美しい紅葉、秋ならではの味覚と、観光に最適な季節を迎えました。ホテルアソシア高山リゾートでは、ホテルホームページで提供している1泊2食付の人気のプランをおくく、また、東海鉄道OB会様向けに3つの特典を付けて「秋のご優待宿泊プラン」としてご用意しました。

秋の味覚満載の「旬彩御膳(夕食)」をご家族で、お仲間同士でお楽しみください。

1泊2食付 お一人様料金(サービス料・税金込)

■秋のご優待宿泊プラン

	2名1室	3名1室	4名1室
平日日	14,000円 (9,800円)	12,500円 (8,750円)	11,500円 (8,050円)
休前日	18,000円 (12,600円)	16,500円 (11,550円)	15,500円 (10,850円)

●秋の旬彩御膳(夕食)のメニュー

- 前菜 季節の三種盛り
- 造り 本日の一品
- 吸物 きのこ汁(松茸 ぶくろう茸 木耳 なめこ 筍等)
- 焼物 秋野菜煮合わせ
- 鍋物 飛騨牛すき焼き仕立て
- 揚げ物 海老変わり揚げ きのこ天ぷら 美味汁
- 食事 秋の赤出汁
- 水物 季節の漬物



秋の旬彩御膳

※食材の入手状況により、一部内容が変更となる場合がございます。

※()は12名未満までのお子様料金です。

※夕食は5,200円相当のお料理です。お子様のメニューは内容が異なります。

※ディナータイム 17:00～21:00

10種類の露天風呂と2種類の内湯からは
雄大な北アルプスを眺めることができます。



- チェックイン/アウト 15:00/12:00
- 駐車場完備
- JR高山駅から無料シャトルバスあり、または駅から車で約10分

お問合せ
ご予約は

Tel.(0577)36-0001まで
ホテルアソシア高山リゾート
〒506-0033 岐阜県高山市越後町1134

東海鉄道OB会会員様向けの特典

- 市内13の観光文化施設で使用できる入場割引券をプレゼント
- 10層以上の高層階のお部屋以上のチェックインが可能(通常は15時)



観光文化施設 飛騨民俗村「飛騨の里」

観光情報 秋の飛騨高山ライトアップ

飛騨高山のシンボルのひとつである中橋渡辺が夕景とともにライトアップされ、一部には幻想的な雰囲気が漂います。秋の夜長を彩り出すライトアップをお楽しみください。



中橋のライトアップ

- 期 間：10月1日(月)～11月30日(金)
- 時 間：18:30～22:00予定
- 場 所：宮川中橋渡辺(高山市神明町)
- アクセス：高山駅から徒歩約12分
- 問合せ先：高山市観光課
Tel:(0577)32-3333

●左記優待宿泊プラン以外でホテルアソシア高山リゾートのレストランをご利用の場合、10%割引となります(お飲物は対象外)。ご宴会や宴会についてもお気軽にご相談ください。ご利用、ご相談の際は「東海鉄道OB会」とお申し出ください。(但し一部店舗、商品を除きます。)

●12/1以降のご宿泊についても、東海鉄道OB会会員様向けに優待宿泊プランをご用意しております。料金、プランの内容については、お問い合わせください。

●往復ともJR線をご利用の方は、JR東海ツアーズの旅行商品をご利用ください。

名古屋マリOTTアソシアホテル 日本料理「華雲」特別ご優待

期間：平成24年10月1日～11月30日まで

ご予約またはお会計の際、「東海鉄道OB会」とお申し出ください。

名古屋マリOTTアソシアホテル、日本料理「華雲」では、テーブル個室を5室から12室へと増設し、9月25日(火)にリニューアルオープンいたしました。このリニューアルを記念して、東海鉄道OB会会員の皆様「華雲」の特別優待をご用意しました。

■日本料理「華雲」特別ご優待 料理・飲食代金10%割引

※特別優待商品、プラン商品等、一部割引が適用できない商品がございます。

ランチのお薦めは新メニューの「華雲御膳」(4,000円)。「メイン料理を天ぷら・肉料理・魚料理など4種からお選びいただけ、家族会など幅広い年齢層のお集りにぴったりなメニューです。新たなしつらえの心とむねで、秋の味覚をお楽しみください。



華雲御膳

営業時間	ご昼食 11:30～14:30
	ご夕食 平日 17:30～22:00(ラストオーダー21:00)
	土日祝 17:00～22:00(ラストオーダー21:00)

お問合せ
ご予約は
Tel.(052)584-1104 (店舗直通 予約受付時間10:00～22:00)まで
名古屋マリOTTアソシアホテル18階 日本料理「華雲」
〒450-6002 愛知県名古屋市中村区名駅1-1-4



日本料理「華雲」



家族がインフルエンザにかかったら — 看護のポイント：家庭内の感染を防ぐために —

名古屋セントラル病院
看護部長 大原 まゆみ



ご家族がインフルエンザと診断されたら、早く治すためにも、学校や職場に感染を広げないためにも自宅での療養が必要です。自宅療養のポイントは、回復できる環境を整えるとともに、家庭内での二次感染の防止をしっかり行うことです。症状が長引く、または悪化した場合にはすぐに医療機関に相談しましょう。

インフルエンザはどうやってうつるのでしょうか

飛沫感染と接触感染があります。飛沫感染は感染した人が咳をすることで飛んだ飛沫に含まれるウイルスを、別の人が口や鼻から吸い込んでしまい、ウイルスが体内に入り込むことです。感染した人が咳を手で押さえた後や、鼻水を手でぬぐった後に、ドアノブや手すり・テレビのリモコンなどに触れると、その触れた場所にウイルスを含んだ飛沫が付着することがあります。その場所を別の人が手で触れ、さらにその手で鼻や口に触れることにより、粘膜などを通じてウイルスが体内に入り感染します。これが接触感染です。

看病で気をつけたいこと

○生活する部屋を別々にする

2m近くにいると感染の可能性があるといわれています。できれば生活する部屋を別々にし、離れて生活することが望ましいでしょう。熱が下がっても2日間は感染の可能性があります。

○看病する人を決めましょう

家族が病気になる心配でつい顔を見たくなります。だからといって入れ替わり立ち代り様子を見に行くと、家族みんなが感染してしまいます。看病する人を決め、他の家族は接触を避けましょう。浴室や洗面などで使うタオルも別々にします。

○マスクと手洗い

咳がある時はマスクを着用します。看病する人も接する時には念のためマスクを着用し、こまめに手を洗いましょう。アルコールを含んだ消毒液（速乾性擦り込み式消毒液）も効果的です。

○部屋の換気をしましょう

部屋を閉め切っているとウイルスが充満します。1時間に1回程度、短時間でも換気をしましょう。



10年前の思い出



名古屋資材支部
松浦 昇

10年一昔と言うが、私の10年前を思い出しながら筆をとった。1945年(昭和20年)1月26日、それは私がこの世に生を受けた日、1946年2月26日、それは私の母が他界した日。いずれもインド・ラジャスターン州の砂漠地帯にあるデオリー強制収容所(現インド軍警察訓練所)でのことだった。

終戦後、収容所を統括していたイギリス軍から日本の敗戦を知らされた。収容所内では、素直に敗戦を信じる「負け組」と、神の国日本が負けるはずがないと言う「勝ち組」との間で内乱が起き、鎮圧に当たったインド軍兵の銃弾によって17名の犠牲者が出た。その1人が私の母である。もう一つの2・26事件とも言うおうか。その後、父は乳飲み子を抱え引き揚げて帰国した。

私とその事実を知り得たのは成人してからだった。そして月日は流れ、私が出生当時、同収容所で少年・少女期であった方が、同収容所を訪れようと計画され、2000年にその努力が実り、インド軍当局から訓練施

設内の見学許可が下りた。そして、自分のルーツを迎えようと妻とともにお世話をいただいた方々と一緒に2002年12月渡印する機会を得た。

現地では、諸先輩が遺したスケッチ集を持参して、訓練所長たちの案内で施設を見学したが、当時は日本人のみならずドイツ人を含め1,200人ほどが収容されていた。今では改修はされているものの、面影を残し訓練兵や軍関係者の家族が生活していた。

タール砂漠を貫く唯一の道路は、ラクダやロバが引く荷車の列、何時来るか分からない窓もドアもない超満員の路線バス、今にも壊れそうなトラックがこれらを避けながら走っている。バランスを崩して横転し、無残な姿を晒しているトラックに何度も遭遇した。旅行中、小さな集落を幾つか通過したが、大部分の住居にはトイレや風呂は無く、家畜とともに生活している現状を目の当たりにした。60数年前の配給生活を余儀なくされた我が国を思い出していた。

そして、私はその時インドの現状を見て、日本の飽食の時代に感謝しつつ、限られた資源を大切にしなければならぬことをあらためて考えさせられた旅だった。

我流—マグロの楽しみ方—あれこれ



焼津支部
大橋 正博

マグロには、本マグロ(クロマグロ)・南マグロ(インドマグロ)・目録マグロ・きはだマグロ等色々な種類があります。遠洋漁業の基地、焼津港のある地で育った私は、幼少の頃からこれらのマグロの種類を、何気なしに耳にして食してきました。

子どもの頃、自宅すぐ近くにある魚市場で、「競り」にかけるため並べられたトロ箱(生のマグロを氷詰めにして発送する木箱)に大きな本マグロがあると、入らないうとうするのかな…と心配したりしたものでした。このトロ箱は「競り」のある日には、お祭りのような賑やかさの中、国鉄東海道本線焼津駅から貨物列車の白い冷蔵車両に乗せられ東京や大阪方面へ輸送されていました。

「大トロ握って下さい」、「中トロと赤身も…」よくお船屋さんで耳にする言葉です。この場合お客さまも店側もマグロの種類は、お互いあえて指定していないが、ここで言う「大トロ」、「中トロ」の対象としているのは「本マグロ」と推察されます。

私の楽しみの一つとして、地元のお船屋さんでは必ず大将に「本マグロ以外のマグロは何があるのか、そしてそれぞれ獲れた場所はどこか?」を訪ねます。店においてあるマグロの種類がわかると「本マグロの中トロと赤身、目録マグロの中トロと赤身、びんちょうマグロの大トロ、かじきマグロをそれぞれ一貫ずつ握って下さい」と言うように、「色々なマグロの持つ味を楽しんでいます」。

さらに、店においてあることが分かれば、本マグロの幼魚(本メジマグロと言う1mくらいのも)も楽しみます。若い本マグロのフレッシュな味が楽しめます。また、背骨の間の身をすくった「中落ち」や腹の部分の皮の裏側の脂の乗った身をすくったものも楽しんでいます。もちろん、これらの旨い味にぴったり相性の合う、好きな地酒の大吟醸の香りとまろやかさとともに、その他の握りは静岡茶と一緒に土地の食材を楽しんでいます。

人それぞれのマグロや船の楽しみ方があると思いますが、私は、趣味の一つとも言える頑固なまでにマグロばかりを楽しんでも飽きない、我流の〇B生活の中の楽しみの一コマを紹介させていただきました。

熊野古道 紀北町「始神峠」を訪ねて



蛸江支部
東昇

年1回のドライブを兼ねた熊野古道の旅は、私の楽しみのひとつだ。今年も是非成功させたいと、現地情報「天候・案内地図・名所旧跡等」を把握するためインターネットをフル活用。納得いくまでデータ収集に意を尽くす。

5月11日が出発日だ。早朝から目覚め、外に出れば快晴で青の空に白色の半月を見る。さわやかな朝で旅に絶好の日だ。五月晴れの下、7時10分、150キロ離れた始神峠を目指しスタートだ。東名阪国道をひた走り伊勢道、紀勢道に入り奥伊勢PAで休憩。走行中の両サイドには靑空に緑の絨毯が敷き詰められた景色が流れ映面のシーンを見ているよう。伊勢道は最南端の大内山ICでアウト。そこから一般道(国道42号線)に入る。

荷坂峠のマンボウの丘を過ぎるとカーブと下り坂が続く。下り切った片上池の畔に道の駅「紀伊長島マンボウ」がありひとときの休憩。10時10分ごろ宮川第二発電所「始神さくら広場」へ到着。いよいよ徒歩で始神峠へスタートだ。

広場の横には、谷川沿いの両側に桜並木が続く。歩道はよく整備されている。少し平坦道を進むと江戸道

経由で始神峠の頂上まで約2キロ弱だ。かなり曲がりくねった、足元の悪い石ころだらけの道。急勾配を一步一步力を入れて登り詰めて行く。眼下には国道42号線を走行する車の列。道路に沿うようにJR紀勢線の線路が続く。江戸道を登り詰め頂上では、解説どおり「紀伊の松島」の美しい景色に出会う。快晴の空、真っ青な海、山の緑がバランスよし。汗をかきかき到着したので、上着を脱いでゆったりとした気分でする握り飯の美味しさは抜群だ。

頂上の分岐点で明治道(始神さくら広場)方面と馬瀬方面に分かれる。今回はさくら広場方面を目指し明治道を下る。歩道はよく整備され、補修も行き届き観光客に対する現地の皆様の心が伝わってくる。明治道は江戸道に比べ平坦だ。下ること約2キロ。鶯の透きとおった鳴き声を聞きながら約40分で下山、42号線を渡り「始神さくら広場」に無事戻った。

12時40分頃、さくら広場を後にし、途中道の駅「紀伊長島マンボウ」でお土産をゲット。大内山牛乳・大紀町の「木つつ木館」に立ち寄り伊勢道・東名阪道経由で無事16時40分帰着した。

安全運転に徹し、楽しい有意義な一日でリラックス出来た。この生きる喜びを幸せに、健康第一に余生を過ごしたい。

健康管理



西濃支部
澤邊 邦雄

週日、昔の鉄道公安官の親睦会に参加しました。集まる者約40名、そこでは予期しない上座に座らされて、思わず辺りを見回し、参加者名簿を開いてみると、なんと90歳の私が最高齢であることを知りました。

会場で乾杯の音頭をとらされたら、入れ替わりアルコールを注いで貰うたびに「長生きの秘訣」を尋ねられて、自分もそんなことを尋ねられる年になったのかと思い、皆さんが望むのであれば、自分の健康管理も少しは参考になるのかと思い烏酔がましくも駄文を綴ります。

大体健康上体に良くないことは、誰でも医師からの指摘を待つまでもなく、承知していることで暴飲暴食、タバコの害、そして、当然のことながら食事が肉食に偏るのは良くない等、人間の歯に肉食動物なみのキバが無いことから当然と思われます。昔、ある医師から老化現象は食物の腸内酸酵ガスによる自家中毒によるものと聞いたので、私は日に3回の排便を実行し、老廃物の

排出を心がけ、また「国鉄体操」と好天の日は努めて20～30分の散歩を心がけ、歯磨きは歯の裏側と歯の面と歯茎を入念に磨くようにしているので虫歯は無く、一本も欠けていません。

毎日1回は詩吟または謡曲、民謡で腹から声を出すことや、毎朝読経を30分ほどと、写経(般若心経)を1枚ずつ書いているのも、精神安定の面から効果があるのだらうと思っています。今では笑う人もあるかと思いますが、読経のあと教育物語を唱えて、日本人の基本道徳を忘れないようにしているのも、良い結果につながっているのだと思います。

私の父は45歳の時癌で倒れ、母は95歳まで生きましたが癌で亡くなりました。二男、三男も癌を患いましたが、私は予期していた癌に今もって侵されずにいて有り難いことだと思っています。

頭の寝え防止のために、毎月の「文芸春秋」と、ときたま「ニュートン」誌を読んでいます。そして趣味としては油絵と俳句など何れも下手の横好きですが、敢えて健康法と言えはこんなところでしょうか。



家族という「宝船」に乗って88歳

磐田支部 鈴木 さよ子

子ども、孫、曾孫との合同の「宝船」に乗せてもらい、88歳の米寿を迎えることが出来た私です。これからの航海は、みんなが健康で仲良く穏やか

に暮らせる幸福丸であることを祈るのみです。

また、2人だけの写真は、3年前の曾孫の伏拝君です。今でも私と毎日楽しく遊んだり、学んだりしてくれる大切な命の友です。そして心のパートナーです。



家族と地域の「絆」づくりに頑張っています!

半田支部 相川 富雄

昨年(2011年)の3月11日の東日本大震災以降、「絆の大切さ」が問われています。わが家族は、年2回ほど私達夫婦と長男夫婦の家族(孫で5歳の男の子と3歳の女の子)6人で遊園地のある行楽地に出かけています。今年は三重県の鈴鹿サーキットに出かけ、遊びを通して「家族の絆」の大切さを実感しています。

また、私は今、南知多町で老人クラブの連合会長をしています。会員は5,800人で、旅行会やゲートボール等々いろいろな行事に年間200日位出ています。その中で町老人クラブ連合会長として「地域の絆」をテーマに頑張っています。



「会報への寄稿・投稿」要領

表紙 写真	会報「JOBとうかい」の表紙に掲載する写真を、広く会員から募集しています。応募写真は、発行の季節にあったものでJR東海エリアを希望しています。 写真は、カラーB5サイズ以上一枚、ポジフィルム、デジカメデータでも結構です。 お送りいただいたものうち、ポジフィルム、デジカメデータ記録媒体は、後日返却します。
支部 だより	OB活動の原点は、支部のそれぞれの活動にかかっています。 この欄では、各支部で行われている総会をはじめ、特色ある活動状況を広く周知し魅力ある支部、活力ある支部づくりに役立ちますので、是非投稿して下さい。 テーマ、内容等は自由ですが、400~500字を目途にし、写真を添えて下さい。
読者の ひろば	会員からの「随筆、情報、体験談等」を随時受け付けています。テーマ、内容等は自由です。 原稿は800字以内で、必ず筆者の顔写真を一枚、また記事にちなんで写真があれば添付けて下さい。

投稿 ページ	会員及びご家族により頼んでもらおうと、「投稿ページ」の欄を設けました。 家族成いは友達と一緒に、楽しいOB生活を送っている(旅行、遊び等)写真を紹介します。 写真のタイトル及び80字以内のコメントを添えて投稿して下さい。
文芸	会員から、「短歌、俳句及び川柳」を随時受け付けています。 応募は、会報発行毎に、一名種別ごとに官製葉書一枚に、短歌は二首、俳句は二句、川柳は二句以内で限り、会報発行時の季節にあったものとします。 応募の際、冠部に「短歌」「俳句」「川柳」と未書して下さい。
掲載 要領	寄稿又は投稿された作品は、順次掲載しますが、応募状況や紙面の都合、発行時の季節等を考慮するため、掲載が遅れる場合がありますのでご承知下さい。 なお、誤字等は修正させていただきますが、寄稿又は投稿された原稿は返却いたしません。 各寄稿・投稿に際しては、必ず応募年月日、所属支部、氏名及び住所、電話番号を明記して下さい。

【寄稿及び投稿先】〒450-0002 名古屋市中村区名駅3-13-12 キヨスク名駅ビル内 東海鉄道OB会・会報編集係宛

インストラクター

伝統の祭囃子を
将来に伝えるために



垂井支部
北村 忠行

垂井祭囃子は、文和2年(1353年)京都八坂神社の分社として八重垣神社が祀られたのが始まりと言われています。

したがって垂井の祭りは、京都の祇園囃子が基本になっていて、道具も祇園祭と同じ太鼓、笛、鐘鼓です。

江戸時代になって山車の上で歌舞伎を演ずるようになり、この形が現在まで伝承されてきています。

私は祭囃子の笛を50年前に覚え、以後太鼓や鐘鼓とともに祭りの時に演奏を行っています。この祭囃子を後世に



▲垂井祭囃子を指導する北村さん

引き継ぐため、10年前から垂井祭囃子保存会会長として垂井小学校、又西町、中町、東町の山車毎にグループを作り、伝承していく仕組みと技術の向上を目指して指導しています。

現在、指導している人は大人40名、小学生100名ほどで、みんなが毎週土曜日に熱心に練習しています。

JR
沿線歩記
ふくしまのまち歩き
Ensen-anki

武豊線
たけふ とよ
武豊駅

- 開業/明治19年3月1日
- 所在地/愛知県知多郡武豊町金下



関東-関西間の幹線鉄道建設計画をうけて、中部地方における鉄道建設資材の輸入基地として選ばれた武豊港。資材を陸揚げするため、干潟のある海岸に長い木製棧橋を造り、輸送船からレール、機関車、貨車、客車等の他、砂利、枕木等の建設資材を運び、ここから熱田までの鉄道線路を敷設した。わずか7ヶ月で完成した武豊線は、当初資材運搬専用線であったが、開通直前に旅客営業も許可された。

1886(明治19)年3月、この地に武豊駅を新設し営業開始。その6年後、現在地に移転。旧駅はその後、武豊港駅として貨物運輸営業を1965(昭和40)年まで行った。

駅前広場には、1953(昭和28)年の台風13号の被害から乗客の生命を自らの身を挺して守った国鉄職員・高橋照氏の像が建つ。

駅から南へ徒歩15分、今も残る味噌蔵の風景は趣き深い。武豊の味噌(たまり(醤油の一種)造りの歴史は古く、武豊港(現・衣浦港)の発展に伴い、原料の大豆が入りやすくなったこともあり、多くの醸造家で栄えた。町内では、特産のたまりを使った風味豊かな煎餅やラーメンを食べることができる。

毎年、4月の第2土・日曜日に開催される長尾地区の春の祭り。山車6台が町内を曳き廻され、からくり人形や三番曳が武雄神社に奉納される。また、7月の第3土・日曜日には大足地区の祭りが行われる。山車の町内巡行の他、蛇の口花火や奉納煙火など、豊石神社を訪れたい。ちなみに、旧長尾村と旧大足村が合併する際、長尾村の鎮守である「武雄神社」と大足村の鎮守である「豊石神社」の頭文字を取って、「武豊」という地名が付けられたという。

沿線歩記は、JR東海の社内誌「おれんじ」2011年4月号から抜粋し再構成したものです。

文芸

【短歌】

水張田に 沿へる線路は カブプして

電車の帯も 曲りて映れり

伊那の郷 東京都よりも 谷広し

二面電車 懸命に走る

上伊那支部 竹内激一

涼しさを 求め水辺に 佇めど

日中の温もり 暑気川面よりくる

昼下がりに 日陰求めて 歩けども

吹き出す汗は 乾く間もなし

南都支部 伊藤博司

国鉄を 愛しつづけた 良人なれば

守り通した 妻の立場で

夢にでも 逢いたき友との 語らひに

夕暮れ迎る 晩秋の園

磐田支部 鈴木さよ子

六十より あつという間の 八十余

何をしてたか 自らを問う

ご近所の 情報を知る 婦人なり

そつと聞いて そつと随しぬ

浜松支部 原 哲

黒雲が 伊豆の山おぼ 包み込む

予報のとおり 豪雨となりぬ

電車にて 初めて席を 譲られし

高校生に 感謝するなり

沼津支部 山田寿男

【俳句】

駿河秋 昔かたらふ 交流会

ビル屋上 語るつわもの 遠花火

静岡支部 岡崎 武

遠雷を 見据て巍然 鬼互

節電の 団扇いつしか 寂息かな

名古屋臨港支部 伊藤鈴登

方言の 語らい親し 土用餅

水はじく 紺鮮やかに 初茄子

山東支部 久保田かよ子

秋の蝶 乱れ調子の ハーモニカ

千万の 光となりて 今朝の露

東海東京地本 平沢英男

千年の 屋久杉と浴ぶ 白雨かな

夏の富士 雲より出でて 雲に消ゆ

東海東京地本 藤田 敏

二年先 見越して奮え 愛いなし

あれこれと 値上げ値上げて 音を上げる

名古屋運輸車両支部 服部幸夫

金筋が ホームに浮かぶ 無人駅

どたん場で 見せる女の 二枚様

岐阜工専局支部 弓術英二

生きてきた 記憶に温い 人ばかり

四季の道 老いをいたわる 万歩計

大府支部 藤井義雄

幸せは 畑を耕し 採る野菜

何気なく 話す言葉 ある助言

四日市支部 小川 勇

今年の夏はロンドンオリンピックが開催され、日本人選手の活躍に熱い声援を送られたことと
 思います。また、今年の夏は本当に暑い暑い日が続いていますが、日本中を熱気に包み込みました
 が、会員のみなさんは元気に過ごされたことと思います。

編集後記

1. 地本・支部だより

今年度は各地方本部の総会を紹介していますが、名古屋地方本部は紙面の都合で掲載出来ませんでした。名古屋地方本部では、新支部長が11名誕生し、これから先輩方々の意見を聞きながら新たな支部づくりに取り組まれることを期待されます。半田支部は、長年にわたりJR東海への協力を続けられた結果、その功績が認められJR半田駅長から感謝状が贈られました。季節も変わり支部活動も活発になると思われます。皆さんの支部の活動状況を投稿して下さい。お互い刺激し合って明るく、未来あるOB会支部を目指したいものです。

2. 読者のひろば

蟹江支部の東さんは、ご夫婦揃って本当に元気で毎回綿密に計画を立て、奥様を隣に集めてドライブを楽しみながら、

熊野古道巡りを続けられています。ほのぼのとした夫婦愛が伝わってくるようです。

3. 投稿ページ

磐田支部の鈴木さんは、温かい家族という「宝船」に乗り幸せな生活を送られているのが感じられます。また、何時も母である細やかな心と、自然の中に身を置いて感じたままを読まれた短歌を投稿していただき有難うございます。

4. インストラクター

垂井支部の北村さんは、長年に亘り地元の祭囃子に係わり、笛、太鼓、鼓など地元の伝統を守るため、毎週子どもから大人まで指導を続け地域とともに暮らして見える様子がうかがえます。

(南川)

2012

気軽に参加できる

さわやかウォーキング

参加費無料
予約不要
駅がスタート!

JR
東海



全109
コース

9/1^土～12/16^日 土・日・祝開催



高山路 信濃金山駅
保良院 白糸



東海道線・松原駅
蓮沼院



東海道線・徳島駅
徳島駅からの富士山



紀伊線・和歌山駅
長崎院



東海道線・静岡駅
天清院



東海道線・彦根駅
湯山寺

各駅案内板にてお知らせ。

さわやかウォーキングの詳細については、JR東海の駅にある専用パンフレット又は、ホームページをご覧ください。

JR東海ホームページ <http://jr-central.co.jp>

JR OB とうかい

Vol.31 2012年10月

発行/〒450-0002 名古屋市中村区名駅 3丁目13-12キョスク名駅ビル内 東海鉄道OB会本部 発行人/南川 靖 TEL.052-562-6080(FAX兼用)